

FUJITSU Tablet ARROWS Tab

B6FH-B944-01-00



## マニュアルをお読みになる前に（製品ガイドの読み替え）

本紙「マニュアルをお読みになる前に（製品ガイドの読み替え）」をご覧になる場合、別紙「マニュアルをお読みになる前に（取扱説明書およびリカバリガイドの読み替え）」と合わせてお読みください。また、『製品ガイド（共通編）』と『製品ガイド（機種別編）』を次のように読み替えてください。

### ■『製品ガイド（共通編）』

「AuthConductor Client Basic」のインストールについては、次のように読み替えてください。

・「1.2.4 「AuthConductor Client Basic」のインストール」

「AuthConductor Client Basic」は「ドライブズディスク」に格納されていますが、インストールの方法や順番が、他のアプリとは異なります。「AuthConductor Client Basic」のインストール方法については、AuthConductor Client Basic のマニュアルをご覧ください。

### ■『製品ガイド（機種別編）』

本タブレットは次の仕様が選択されています。『製品ガイド（機種別編）』の「第5章 仕様」－「5.1 本体仕様」では「ARROWS Tab Q5010/DB／ARROWS Tab Q5010/DE

■ 無線 WAN モデル」の表で、「ARROWS Tab Q5010/DE」のインテル® Celeron® プロセッサ N4020 の列をご覧ください。次のように読み替えてください。

※本タブレットはオリジナルモデルのため、『製品ガイド（機種別編）』のカスタムメイドオプション選択についての記載は読み飛ばしてください。

また、軽量スリムキーボードはスリムキーボードに読み替えてください。

製品名称		ARROWS Tab Q5010/EEG			
型名		FARQ25054Z	FARQ25053Z	FARQ25052Z	FARQ25051Z
CPU 注1	名称	インテル® Celeron® プロセッサ N4000			
	動作周波数	1.10GHz（最大 2.60GHz 注2）			
	コア数/スレッド数	2/2			
	キャッシュメモリ（2次）	4MB			
メインメモリ（オンボード）		標準 4GB（LPDDR4-2400MHz）			
表示機能	液晶ディスプレイ注3	LED バックライト付 10.1 型ワイド TFT カラー、IPS Alpha 液晶（グレア処理）			
	輝度	350nits			
フラッシュメモリ注4注5		128GB（eMMC）	64GB（eMMC）	128GB（eMMC）	64GB（eMMC）
キーボード		日本語キーボード			
ポインティングデバイス		タッチパネル（静電容量方式）、スタイラスペン（電磁誘導方式）、フラットポイント		タッチパネル（静電容量方式）、フラットポイント	
通信機能	無線 WAN	対応（LTE）注6			
セキュリティ機能	指紋センサー	-			
インターフェース		拡張クレードル 非対応			
バッテリー駆動時間注7（JEITA 測定法 2.0 注8）		約 11.5 時間			
消費電力注9（最大時）		約 2.2W（約 41W）	約 2.2W（約 41W）	約 2.2W（約 41W）	約 2.2W（約 41W）
質量注10	タブレット本体	約 605g		約 590g	
	タブレット本体+スリムキーボード	約 1245g		約 1230g	

裏面もご覧ください →

省エネ法に基づくエネルギー消費効率 注11 (2022年度基準)	10区分 9.5kWh/年 (AA)	10区分 9.5kWh/年 (AA)	10区分 9.5kWh/年 (AA)	10区分 9.5kWh/年 (AA)
防水・防塵	IPX4/IP5X			
耐薬品	-			
プレインストール OS 注12	Windows 10 Pro (National Academic only)			

注1: アプリによっては、CPU 名表記が異なる場合があります。

・本タブレットに搭載されている CPU で使用できる主な機能については、  
『製品ガイド (機種別編)』 - 「5.2 CPU」をご覧ください。

注2: インテル® バースト・テクノロジー動作時。

注3: 以下は液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります (有効ドット数の割合は 99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示している全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。

・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。  
・本タブレットで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。

・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらくすると消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源オプション」ウィンドウ左の「ディスプレイの電源を切る時間の指定」から行えます。

・表示する条件によってはムラおよび微小なほん点が目立つことがあります。

注4: 選択したモデルによりいずれかが搭載されていません。

注5: 容量は、1GB=1000<sup>3</sup>バイト換算値です。

注6: ・NIT ドコモの通信サービスをご利用の場合

SIM カードスロットに Xi に対応した SIM カード (\*) を装着するだけで、受信時最大 225Mbps / 送信時最大 50Mbps (\*) の超高速通信が可能です (Xi エリアの一部に限ります)。

Xi エリア外であっても FOMA のエリアであれば受信時最大 14Mbps / 送信時最大 5.7Mbps (\*) の高速通信が可能です。 (\*)

\*1: ドコモ nanoUIM カードが利用可能です。

\*2: 対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。エリアの詳細については NIT ドコモのホームページ (<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/index.html>) をご確認ください。

\*3: 無線 WAN をご利用になるには、当社が提供する企業向けネットワークサービス「FENICS II ユニバーサルコネク」の契約または NIT ドコモとの回線契約および Xi に対応したプロバイダーとの契約が必要です。

・KDDI(au) の通信サービスをご利用の場合

SIM カードスロットに 4G LTE に対応した SIM カード (\*) を装着するだけで、4G LTE (\*)、WiMAX 2+ の高速通信がご利用いただけます。 (\*)

\*1: 「au Nano IC Card 04 LTE」のご利用となります。

\*2: 一部エリアを除く。

\*3: 4G LTE エリア内であっても電波状況によりご利用いただけない場合があります。エリアについての詳細情報は、(<https://www.au.com/mobile/area/>) をご覧ください。「4G LTE」 「WiMAX2+」は回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと判断したネットワークに接続します。

・SoftBank の通信サービスをご利用の場合

SIM カードスロットにソフトバンクの SIM カード (\*) を装着するだけで、「SoftBank 4G LTE」 「SoftBank 4G」の超高速通信が可能です。また、「SoftBank 4G LTE」 「SoftBank 4G」 エリア外でも「3G ハイスピード」の通信でご利用が可能です。 (\*) (\*) (\*)

\*1: ソフトバンク所定の USIM カード「USIM カード (F)」 でご利用が可能です。「USIM カード (F)」 から nano サイズで取り外し装着してください。

\*2: SoftBank 4G LTE、SoftBank 4G は、第 3.5 世代移動通信システム以上の技術に対しては 4G の呼称を認めるという国際電気通信連合 (ITU) の声明に基づきサービス名称として使用しています。

\*3: 対応エリアの詳細はソフトバンクのホームページ

(<https://www.softbank.jp/biz/mobile/network/>) でご確認ください。

\*4: 無線 WAN をご利用になるには、ソフトバンクとの通信回線契約が必要です。

注7: BIOS セットアップの「詳細」メニュー→「各種設定」→「バッテリーの充電電圧」を「通常電圧モード」に設定して測定しています。また、バッテリー駆動時間は、ご利用状況やカスタムメイド構成によっては記載時間と異なる場合があります。

注8: 一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver. 2.0)」 (<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=84&ca=14>) に基づいて測定。

注9: ・当社測定基準により (標準搭載メモリ、標準フラッシュメモリ容量、無線 WAN / 無線 LAN / Bluetooth ワイヤレステクノロジー OFF、LCD 輝度最小)。  
・電源オフ時の消費電力 (満充電時) は、約 0.2W 以下です。電源オフ時の消費電力を 0 にするには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

注10: 平均値のため、お使いのタブレットで質量が異なる場合があります。

注11: エネルギー消費効率とは、JIS C62623 (2014) に規定する方法により測定した年間消費電力量です。カッコ内の数値は省エネルギー基準達成率を示します。ただし、達成率が 100%を超えるものは、次のようにアルファベットによる表示語で表記しています。

A: 100%以上 110%未満、AA: 110%以上 140%未満、AAA: 140%以上。

注12: 日本語版。

Intel、インテル、Celeron は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。その他の各製品は、各社の著作物です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2020